



# モチノキ [ 鶉の木 ]

5本の樹

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



**科名** モチノキ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い、雌雄異株

庭木としては、目隠し、西日除け、アイストップなど実用的な配植が多い。雌雄異株でどっしりとした樹形になる。雌株の実は11月を過ぎる頃赤く成熟する。モチノキは関東、クログネモチは関西でよく植えられる。モッコクやモクセイとともに庭木としてよく使われてきた。



緑葉



花



新葉



実

## Memo

この樹の樹皮を剥いで、水に浸けて発酵させ'鳥もち'をつかった。そのためモチノキと呼ばれる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					■								
果 実											■	■	■
紅 葉													
施 肥		■ (痩せ地でなければ不要)											
剪 定		■					■						■

好みの環境			
日当り	陽	○	○
土 壤	乾		○
寒 さ	強	○	
暑 さ	強	○	
潮 風	強	○	
	耐 陰		弱
	耐 湿		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○					○	

## ポイント

強健な樹のため管理の手間はかからない。目隠し、西日除け、アイストップなどの目的を確認し、鬱蒼（うっそう）としないよう風通しよく維持するとよい。

## 剪定

モチノキ科の中では枝葉が密に茂り鬱蒼（うっそう）としやすい。風通しが悪くなるとカイガラムシが発生しやすくなるので、枝を透かすように剪定するとよい。

## 病虫害

カイガラムシと「すす病(カビの一種)」の被害を受けやすい。カイガラムシが発生すると、二次的にその排泄物にすす病が発生するので一緒に対処する。

呼べる鳥

[キジバト](#)・[アカハラ](#)・[ジョウビタキ](#)  
[ツグミ](#)・[オナガ](#)

呼べる蝶

[サツマシジミ](#)